

# 令和 元年度 7月例会

人工知能時代到来!!  
人を幸せにする  
経営を考える

日時:7月25日(木曜日)

19時00分~21時00分

場所:岡崎商工会議所 大ホール

担当委員会:研修委員会

参加者数:119名



## 【例会内容】

本例会では、「人工知能時代到来!! 人を幸せにする経営を考える」と題し、(株)働きごこち研究所 ワークスタイルクリエイターの藤野貴教氏を講師にお迎えして行いました。

テクノロジーが進化するこの時代において、私たち経営者やリーダーがテクノロジーをどう経営に活かしていくのか、そして、人にしかできない仕事やサービスは何かという2つの観点から、今後必要とされる経営方法と働き方について学ぶことを目的とし、講師の藤野氏には分かりやすく、中小零細企業にも役立つ内容の講義をしていただきました。

テクノロジーを経営に活かすには、キャッシュレス決済やメルカリなど、普段の生活でサービスに触れ使ってみることが第一歩であること。テクノロジーは、働き手とお客様の不便を解消し、働き方改革、さらには街の活性化にまで繋がること。人工知能時代のリーダーとは、「テクノロジーに強く、そして人間らしいリーダー」であると藤野氏は語られていました。

後半には、研修委員会から建築設計業の鈴木潤君(司会)、100年続く眼鏡店を営む平岩哲朗君、障碍児教育機関を営む飯田光明君の3名が登壇し、対談形式で代表質問を行いました。コンピューターに代替されると言われている職種は今後どうすべきか、AIをどこまで信用していいものか、労働基準法は今後どのように変わっていくのかなど、各事業所が抱える疑問に対し、厳しくも真剣にご返答をいただきました。

藤野氏は、常に「見てみる、やってみる」ことが先決であり、AIに対し過度に期待するのではなく、AIが出来ること出来ないことを見極め、人間の手が必要な部分を知ること、人にしかできない仕事の価値を見出すことができると仰っていました。

今後はテクノロジーの進化によって、人の価値観はさらに変わり、働き方、労働の形も共に変化していきます。人をロボットのように働かせた時代から、人が人らしく働くことができる時代へのシフトチェンジには、経営者・リーダーが自らテクノロジーに触れ、世の中が必要としているもの、今後働き手となる若い世代が持つ価値観を知ろうとすることが大事であると、藤野氏は強く語られました。



## 【委員長所感】 研修委員会 松崎礼子 委員長

考案当初、人工知能という内容に対し、苦手意識のある方、小規模事業者には関係ないと感じる方が多く、聞いてもらえないのではという意見もありましたが、“今”岡崎 YEG が学ぶべき必要な事として本案を進めて参りました。例会中は、その不安もよそに皆さん驚くほど真剣に話を聞いてくださいました。

テクノロジーをお題にした話ではありますが、大事なものは体感、目的、感情であり、それはどんな時代でも変わらずにあり続けるものであると感じました。この感覚を、働き手自身が大切にすることで、お客様を満足させることに繋がり、双方が幸せになる経営が生まれます。

令和という新たな時代に入り、昨年 30 周年を迎えた岡崎 YEG としても、今までとは違う新たな挑戦が必要な時です。

本例会で学んだことを、皆さんが体感し、情報を共有し合い、刺激し合って共に経営を進化させることで、岡崎 YEG はさらに“最高の岡崎 YEG”へと成長していくと考えます。この学びが止まらぬ様、今後も委員会から発信を続けたいと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

